

船舶事故調査報告書

平成30年8月22日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突
発生日時	平成29年7月25日 10時50分ごろ（現地時間）
発生場所	アラブ首長国連邦サクル港北西方沖（ペルシャ湾）
事故の概要	自動車運搬船 ^{ハンブルグ ハイウェイ} HAMBURG HIGHWAYは、南西進中、また、船種船名不詳の船舶は、航行中、両船が衝突した。
事故調査の経過	平成29年7月26日、主管調査官（神戸事務所）を指名原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 自動車運搬船 HAMBURG HIGHWAY、45,665トン 142464、アヤメ・マリン株式会社、 SKD5850 SHIPPING S.A.（船舶借入人） B 船種船名不詳
乗組員等に関する情報	A 船長A、一級（航海） 航海士A、三級（航海）（履歴限定） B 不明
負傷者	A なし B 不明
損傷	A 船首部外板に擦過傷 B 不明
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北西、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏
事故の経過	<p>A船は、船長A及び航海士Aほか22人（日本国籍8人、フィリピン共和国籍14人）が乗り組み、車両等を載せ、アラブ首長国連邦ジュベリアリ港に向け、サクル港北西方沖を、約16ノットの対地速力で、自動操舵により南西進していた。</p> <p>航海士Aは、単独で船橋当直中、右舷前方5海里（M）付近に前路を左方に横切るB船を認め、その後、接近したB船の進路を避けるつもりで手動操舵に切り換えて緩やかに右転を始めたところ、左舷前方1M付近となったB船が突然A船の前路に向けて進路を変更したので、B船に対して汽笛を吹鳴した。</p> <p>A船は、船長Aが、船橋後部で椅子に腰を掛けて事務処理を行っていたところ、汽笛を聞いたので、立ち上がり船首方を見て左舷船首至近にB船を認め、警告信号を行うとともに主機を停止し、右舵一杯としたものの、その船首部とB船とが衝突した。</p> <p>B船は、サクル港北西方沖を航行中、A船の前路に向けて針路を変更し、A船と衝突した。</p>
分析	A船は、サクル港北西方沖を南西進中、航海士Aが、前路を左方に

	<p>横切るB船を認め、B船の進路を避けて右転したものの、B船と衝突したものと考えられる。</p> <p>B船は、サクル港北西方沖を航行中、避航動作をとったA船の前路に向けて針路を変更し、A船と衝突したものと考えられるが、B船が特定されていないことから、衝突に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、サクル港北西方沖において、A船が南西進中、B船が航行中、両船が衝突したものと考えられる。</p>
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 避航動作をとる際は、他船が容易に認めることができるように大幅にとること。